

2008列島縦断「いのち育む有機農業」関西地区現地研修会
 -除草剤を使わないイネづくり1年目の取組みと課題-

戦後長い間、日本の農民は農薬がなければ省力な稲作はできないと思い込まされてきました。そもそも除草剤の開発は農家の主婦（お袋）の厳しい草取り労働を解放させたいという農家出身研究者の熱い思いでした。

それが環境負荷という重い荷物を背負いながら今日的な「除草剤を使わないイネづくり」の探求が始まって20年、遂に慣行栽培を超える抑草技術がはっきりと姿を現し始めました。

2回代かきによる抑草法・米ぬか投与によるトロトロ層形成抑草法・アイガモ農法・紙マルチ・機械除草などが実用技術として普及されてきました。

その現場をみながら、化学肥料や農薬に頼らず自然の循環機能を活かした稲作（有機稲作）の今日的課題と技術開発・普及のあり方を考えたいと思います。
 農家のみなさまはもとより、政治や行政、報道に関わる方々、そして消費者のみなさまも、是非お誘いあわせてご参加下さい。

記

1 日 時 7月19日（土）午後1：00～20日（日）午前 12：00

2 場 所

(1) 研修会場 島根県出雲市芦渡町 2440 島根県農業技術センター
 (花卉振興棟大会議室ほ及び試験ほ場)

(2) 現地視察 島根県出雲市西代町 (農) グリーンファーム西代 ほ場

(3) 交流会場 島根県出雲市渡橋町 831 出雲ロイヤルホテル

Tel:0853-23-7211、Fax:0853-24-2893、E-mail:royal@tiger.co.jp

3 参加者数 60名程度

4 参加費 全日程参加 8,000円 部分参加は下記参照

5 日 程 別紙

6 主 催 NPO法人 民間稲作研究所ほか（後援：島根県ほか）

7 問い合わせ及び申し込み先 NPO法人民間稲作研究所

Tel/fax:0285-53-1133/1512 メールアドレス:inaba@inasaku.or.tv

申込書

ご氏名

TEL

ご住所

	19日			20日	総 額
	研修会	現地視察	懇親会	研修会	
部分参加費（参加日程○ 印を）	1,500	1,000	5,500	1,500	
全日程参加	8,000円				

※参加費総額を記載し、ファックス又はメールでお申込み下さい。（締切7月14日厳守）

※研修会費用は19日・20日を通したものであり、19日のみ・20日のみ・両方の場合ともすべて同額となります。

※宿泊は各自でご手配ください。

日 程

【7月19日】

- 12:30 山陰本線 出雲市駅北口集合 13:00 バスにて農業技術センターへ
※バスの送迎については参加人数等により変更（中止）する場合があります
- 13:30～13:35 開会あいさつ
- 13:35～15:30 島根県における除草剤を使わない米作り概況報告
①除草剤を使わない米づくり推進状況
（島根県農林部農畜産振興課）
②除草剤を使わない米づくり関係試験の実施状況
（島根県農業技術センター栽培研究部作物グループ）
③生物多様性の調査状況について
（島根県農業技術センター資源環境研究部病虫グループ）
- 16:00～17:00 実証圃の視察
農業試験場→出雲市西代町（農）ファーム西代
※農業技術センターから実証圃までは貸切バス等を手配の予定
※現地視察後、交流会場へ移動
※交流会場⇔JR出雲市駅はホテル送迎バス（27人乗り）で移動予定
- 18:00～19:00 除草剤を使わないイネづくりの現状と技術的課題
NPO法人 民間稲作研究所 稲葉光國 氏
- 19:00～21:00 交流会

【7月20日】

- 9:00～10:30 除草剤を使わないイネづくり 各地からの報告と交流
実践報告1 島根県江津市桜江町（有）反田組の実践
（有）反田組農業部長 反田孝之 氏
実践報告2 滋賀県高島市のいきものゆりかご水田の取組み
たかしま有機農法研究会 石津大輔 氏
実践報告3 兵庫県豊岡市の「コウノトリ育む農法」とラムサール登録
取り組みの現状と課題
豊岡市コウノトリ共生部農林水産課 環境農業推進係
成田 寿道（なりた としみち）
- 10:30～12:00 パネルディスカッション
テーマ：「いのち育む有機稲作」の現代的意義と生き物調査及び販路開拓
コーディネーター：稲葉光國（NPO法人 民間稲作研究所）
パネラー：本多 清（アマタ株式会社 研究員）
反田 孝之（反田組農業部長）
石津 大輔（たかしま有機農法研究会）
成田 寿道（豊岡市 環境農業推進係）
山本 朗（島根県農畜産振興課）
- 12:00 閉会